

CatOS (ハイブリッド) が稼働する Catalyst 6500 シリーズ スイッチでの障害が発生した冗長構成スーパーバイザ モジュールの交換

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[関連製品](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[スーパーバイザ モジュールを交換するステップごとの手順：同一のハイブリッド OS](#)

[スーパーバイザ モジュールを交換するステップごとの手順：異なるハイブリッド OS](#)

[新しいスーパーバイザ モジュールを取り付ける前の確認](#)

[新しいスーパーバイザ モジュールの取り付け](#)

[新しいスーパーバイザ モジュールを取り付けた後のスーパーバイザ モジュールの確認](#)

[MSFC IOS の確認](#)

[スタンバイスーパーバイザへのフェールオーバーと確認](#)

[Catalyst OS の名前変更](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Catalyst 6500 シリーズ スイッチで障害が発生した冗長スーパーバイザ モジュールを交換する方法について説明しています。このドキュメントで説明しているのは、ハイブリッド OS が稼働しているスーパーバイザ モジュールの場合の手順です。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- [冗長性の設定](#)
- [NSF と SSO MSFC 冗長機能の設定](#)

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ
- スーパーバイザ モジュール : WS-SUP32-GE-3B
- ハイブリッド OS : Catalyst OS (CatOS) 8.5(8)MSFC IOS® 12.2(18)SXF7

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

[関連製品](#)

このドキュメントは、次のバージョンのハードウェアとソフトウェアにも使用できます。

- ハイブリッド OS が稼働する Supervisor Engine 720
- ハイブリッド OS が稼働する Supervisor Engine 2

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[背景説明](#)

次に示すように、冗長スーパーバイザ モジュールに関連して、重要な点がいくつかあります。

- スタンバイ側のスーパーバイザ エンジンでは、コンソール ポートは非アクティブになっています。このモジュールのステータスは「standby」と表示され、アップリンク ポートのステータスは正常であると表示されます。
- 各スーパーバイザ エンジンが別々に起動するのを制御できるようにするために、スーパーバイザ エンジン間でコンフィギュレーション レジスタは同期されません。
- 2 基のスーパーバイザ エンジンでソフトウェア バージョンが異なっているか、NVRAM コンフィギュレーションが異なっていると、アクティブ側のスーパーバイザ エンジンでは、自身のソフトウェア イメージとコンフィギュレーションを自動的にスタンバイ側のスーパーバイザ エンジンへダウンロードします。
- スーパーバイザ エンジンは 2 つのフラッシュ イメージを使用します: ブートイメージおよびランタイム イメージ。ブート イメージ ファイル名は BOOT 環境変数で指定され、このファイルは NVRAM に保存されます。ランタイム イメージは、ROM モニタがスーパーバイザ エンジンを起動するために使用するブート イメージです。システムが起動した後、ランタイム イメージは dynamic RAM (DRAM; ダイナミック RAM) に置かれます。
- 冗長性をサポートするには、冗長スーパーバイザ エンジンの両方が同じモデルのフィーチャカードを装備する同一タイプである必要があります。WS-X6K-SUP1-2GE と WS-X6K-SUP1A-2GE は、いずれも Policy Feature Card (PFC; ポリシー フィーチャ カード) が装備されておらず、冗長性に関して互換性があります。PFC を搭載したスーパーバイザ エンジンの場合は、冗長性を持たせるには PFC は同一 (PFC を 2 枚、PFC2 を 2 枚、PFC3A を 2 枚、PFC3B が 2 枚、または PFC3BXL が 2 枚) である必要があります。

[スーパーバイザ モジュールを交換するステップごとの手順 : 同](#)

一のハイブリッド OS

このセクションでは、Catalyst 6500 シリーズ スイッチでの Supervisor Engine 32 の交換手順を、順を追って説明しています。この例では、スロット 5 と 6 に 2 基のスーパーバイザ モジュールが搭載されている Catalyst 6509 スイッチを使用しています。スロット 6 のスーパーバイザ モジュールに障害が発生したとします。そして、故障したスロット 6 のスーパーバイザ モジュールはシャーシから取り外されていると仮定します。ここでは、新しいスーパーバイザ モジュールをスロット 6 に取り付ける手順を説明しています。

別の Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチがあれば、新しいスーパーバイザをこのスイッチに接続し、ハイブリッド OS をアップグレードまたはダウングレードして、実稼働中のスイッチのスロット 5 にあるスーパーバイザと同じレベルにすることができます。新しいスーパーバイザ モジュールに同じハイブリッド OS が搭載されている場合は、新しいスーパーバイザ モジュールに対して設定を行う必要はありません。スーパーバイザ モジュールをスロット 6 に取り付けると、アクティブなスーパーバイザ エンジンによって設定の同期が自動的に行われます。このセクションでは、スーパーバイザを交換する際の手順と、チェックリストについて説明しています。

このセクションでは、Catalyst 6500 シリーズ スイッチでの Supervisor Engine 32 の交換手順を、順を追って説明しています。

1. スーパーバイザ モジュールをスロット 6 に取り付けます。スロット 6 のスーパーバイザにコンソール接続している場合は、次の出力が表示されます。

```
!--- Supervisor module at slot 6 System Bootstrap, Version 12.2(18r)SX2, RELEASE SOFTWARE
(fc1) Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport Copyright (c) 2004 by cisco
Systems, Inc. Cat6k-Sup32 platform with 524288 Kbytes of main memory Autoboot executing
command: "boot bootdisk:cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin" Self decompressing the image :
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
##### [OK] System Power On Diagnostics DRAM
Size .....512 MB Testing DRAM .....Passed Verifying
Text Segment .....Passed NVRAM Size .....2048 KB Level2 Cache
.....Present Level3 Cache .....Absent System Power On
Diagnostics Complete Currently running ROMMON from S (Gold) region Boot image:
bootdisk:cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin Firmware compiled 01-Dec-06 12:57 by integ Build
[100] This module is now in standby mode. Console is disabled for standby supervisor. 次の
出力は、スロット 5 にあるアクティブなスーパーバイザのコンソールです。 Access2>
(enable)
Access2> (enable)
Access2> (enable) 2007 May 22 19:17:48 %SYS-5-MOD_INSERT:Module
6 has been inserted

Access2> (enable)
Access2> (enable)
Access2> (enable)
%SYS-5-SUP_MODSBY:Module 6 is in standby mode

%SYS-5-SUP_IMGSYNC:File synchronization process will start in 120 seconds
```

```

%DIAG-6-RUN_MINIMUM:Module 6: Running Minimal Diagnostics...

%DIAG-6-DIAG_OK:Module 6: Passed Online Diagnostics

%SYS-3-TRANSCEIVER_NOTSUPP: Transceiver on port 6/1 is not supported

%SYS-3-TRANSCEIVER_NOTSUPP: Transceiver on port 6/2 is not supported

%SYS-5-PORT_SSUPOK:Ports on standby supervisor (module 6) are up

%SYS-3-MOD_PORTINTFINSYNC:Port Interface in sync for Module 6

%DIAG-6-RUN_MINIMUM:Module 16: Running Minimal Diagnostics...

%DIAG-6-DIAG_OK:Module 16: Passed Online Diagnostics

%SYS-5-MOD_OK:Module 16(WS-F6K-MSFC2A,SAL1018LQ3C) is online

%MGMT-5-SYS_CONFIG_START_MOD_FAIL:Unable to start system configuration
for module 6

%MGMT-5-SYS_CONFIG_START_MOD_FAIL:Unable to start system configuration for
module 16

%SYS-5-SUP_IMGSYNSTART:Active supervisor is synchronizing bootdisk:
cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin

%SYS-5-SUP_IMGSYNCFINISH:Active supervisor has synchronized bootdisk:
cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin

```

```
Access2> (enable)
```

2. スーパーバイザの冗長性のステータスを確認します。Access2> (enable) **show system highavailability** Highavailability: enabled Highavailability versioning: disabled Highavailability **Operational-status: ON** Access2> (enable)

3. MSFC の冗長性のステータスを確認します。Access2> (enable) session 15
Trying Router-15...
Connected to Router-15.
Escape character is '^]'.

LAB-Router>enable

```

LAB-Router#show redundancy Redundant System Information : -----
Available system uptime = 10 minutes Switchovers system experienced = 0 Standby failures =
0 Last switchover reason = unsupported Hardware Mode = Duplex Configured Redundancy Mode =
Stateful SwitchOver - SSO Operating Redundancy Mode = Stateful SwitchOver - SSO Maintenance
Mode = Disabled Communications = Up Current Processor Information : -----
----- Active Location = slot 5 Current Software state = ACTIVE Uptime in current state =
10 minutes Image Version = Cisco Internetwork Operating System Software IOS (tm) MSFC2A
Software (C6MSFC2A-ADVENTERPRISEK9_WAN-M), Version 12.2(18)SXF7, RELEASE SOFTWARE (fc1)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport Copyright (c) 1986-2006 by cisco
Systems, Inc. Compiled Thu 23-Nov-06 01:03 by kellythw BOOT = CONFIG_FILE = BOOTLDR =
Configuration register = 0x2102 Peer Processor Information : -----
Standby Location = slot 6 Current Software state = STANDBY HOT Uptime in current state = 2
minutes Image Version = Cisco Internetwork Operating System Software IOS (tm) MSFC2A
Software (C6MSFC2A-ADVENTERPRISEK9_WAN-M), Version 12.2(18)SXF7, RELEASE SOFTWARE (fc1)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport Copyright (c) 1986-2006 by cisco
Systems, Inc. Compiled Thu 23-Nov-06 01:03 by kellythw BOOT = CONFIG_FILE = BOOTLDR =
Configuration register = 0x2102 LAB-Router#

```

4. スーパーバイザのフェールオーバーを強制的に実行し、テストします。

```

!--- Supervisor in slot 5 Access2> (enable) switch supervisor This command will force a
switch-over to the standby Supervisor module. Do you want to continue (y/n) [n]? y 2007 May
21 20:40:37 %SYS-5-MOD_RESET:Module 5 reset from Console// Access2> (enable) System
Bootstrap, Version 12.2(18r)SX2, RELEASE SOFTWARE (fc1) Technical Support:
http://www.cisco.com/techsupport Copyright (c) 2004 by cisco Systems, Inc. Cat6k-Sup32

```

```

platform with 262144 Kbytes of main memory Autoboot executing command: "boot
bootdisk:cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin" Self decompressing the image :
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
#####
##### [OK] System Power On Diagnostics DRAM
Size .....256 MB Testing DRAM .....Passed Verifying
Text Segment .....Passed NVRAM Size .....2048 KB Level2 Cache
.....Present Level3 Cache .....Absent System Power On
Diagnostics Complete Currently running ROMMON from S (Gold) region Boot image:
bootdisk:cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin Firmware compiled 01-Dec-06 12:57 by integ Build
[100] This module is now in standby mode. Console is disabled for standby supervisor

```

5. スーパーバイザ 6 にコンソール接続して、スーパーバイザと MSFC の設定を確認します。

スーパーバイザ モジュールを交換するステップごとの手順：異なるハイブリッド OS

このセクションでは、Catalyst 6500 シリーズ スイッチでの Supervisor Engine 32 の交換手順を、順を追って説明しています。この例では、スロット 5 と 6 に 2 基のスーパーバイザ モジュールが搭載されている Catalyst 6509 スイッチを使用しています。スロット 6 のスーパーバイザ モジュールに障害が発生したとします。そして、故障したスロット 6 のスーパーバイザ モジュールはシャーシから取り外されていると仮定します。ここでは、新しいスーパーバイザ モジュールをスロット 6 に取り付ける手順を説明しています。

新しいスーパーバイザのハイブリッド OS をアクティブなスーパーバイザと同じバージョンにアップグレードすることができない場合は、この手順を実行して、スーパーバイザ モジュールを取り付け、ハイブリッド OS とスイッチ設定を同期させることができます。この手順のほとんどは自動化されています。このドキュメントでは、スーパーバイザを交換する際の手順と、チェックリストについて説明しています。

新しいスーパーバイザ モジュールを取り付ける前の確認

このセクションでは、スロット 6 にスーパーバイザがないスイッチでの次の show コマンドの出力を示しています。

- Show module
- Show version
- ブート変数。

1. show module の出力は次のとおりです。Access2> (enable) **show module** Mod Slot Ports

```

Module-Type Model Sub Status ---
-- ----- 1 1 0 1000BaseX Ethernet no power-down 2 2 48 10/100BaseTX Ethernet WS-X6248-RJ-45 no ok 3 3 48 10/100BaseTX Ethernet WS-X6348-RJ-45 yes ok 4 4 48 10/100BaseTX Ethernet WS-X6348-RJ-45 yes ok 5 5 9 1000BaseX Supervisor WS-SUP32-GE-3B yes ok 15 5 1 Multilayer Switch Feature WS-F6K-MSFC2A no ok 7 7 5 Communication Media Mod. WS-SVC-CMM no ok 8 8 0 FXS no power-down 9 9 0 10/100BaseTX Ethernet no power-down !--- Output suppressed Mod Sub-Type Sub-Model Sub-Serial Sub-Hw Sub-Sw ---

```



```
Currently running ROMMON from S (Gold) region
Boot image: bootdisk:RTSYNC_cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin
```

```
Firmware compiled 01-Dec-06 12:57 by integ Build [100]
```

```
This module is now in standby mode.
Console is disabled for standby supervisor
```

3. スタンバイ側のモジュールが起動すれば、アクティブ側のスーパーバイザ モジュールから冗長ステータスを確認できます。

```
Access2> (enable) 2007 May 21 20:26:22 %SYS-5-SUP_MODSBY:Module 6 is in standby mode
2007 May 21 20:26:23 %SYS-5-SUP_IMGSYNC:File synchronization process will start in 120 seconds
2007 May 21 20:27:08 %SYS-1-SYS_LCPERR1:Module 16: RP requested reset of peer RP : MSFC on module 16 will be reset
2007 May 21 20:27:24 %DIAG-6-RUN_MINIMUM:Module 6: Running Minimal Diagnostics..
.
2007 May 21 20:27:24 %DIAG-6-DIAG_OK:Module 6: Passed Online Diagnostics
2007 May 21 20:27:25 %SYS-3-TRANSCEIVER_NOTSUPP: Transceiver on port 6/1 is not supported
2007 May 21 20:27:25 %SYS-3-TRANSCEIVER_NOTSUPP: Transceiver on port 6/2 is not supported
2007 May 21 20:27:25 %SYS-5-PORT_SSUPOK:Ports on standby supervisor (module 6) are up
2007 May 21 20:27:25 %SYS-3-MOD_PORTINTFINISYNC:Port Interface in sync for Module 6
2007 May 21 20:28:24 %SYS-5-SUP_IMGSYNCSTART:Active supervisor is synchronizing bootdisk:cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin
2007 May 21 20:28:25 %SYS-5-SUP_IMGSYNCFINISH:Active supervisor has synchronized bootdisk:cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin
```

```
Access2> (enable) Access2> (enable) dir
2 -rw- 10029260 Dec 13 2006 15:37:08 cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin
```

```
245735424 bytes available (10031104 bytes used)
```

```
Access2> (enable) dir 6/
2 -rw- 9356096 May 11 2006 19:04:09 cat6000-sup32pfc3k8.8-4-5.bin
2287 -rw- 10029260 May 21 2007 20:24:10 RTSYNC_cat6000-sup32pfc3k8.8-5- 8.bin !---
You can see the copied CatOS name starts with RTSYNC_ 236900352 bytes available (19390464 bytes used)
Access2> (enable) show system highavailability Highavailability: enabled
Highavailability versioning: disabled Highavailability Operational-status: ON
```

新しいスーパーバイザ モジュールを取り付けた後のスーパーバイザ モジュールの確認

次の手順を実行します。

1. **show module** の出力は次のとおりです。Access2> (enable) **show module** Mod Slot Ports
Module-Type Model Sub Status ---
----- 1 1 0 1000BaseX Ethernet no power-down 2 2 48 10/100BaseTX Ethernet WS-X6248-RJ-45 no ok 3 3 48 10/100BaseTX Ethernet WS-X6348-RJ-45 yes ok 4 4 48 10/100BaseTX Ethernet WS-X6348-RJ-45 yes ok **5 5 9 1000BaseX Supervisor WS-SUP32-GE-3B yes ok 15 5 1 Multilayer Switch Feature WS-F6K-MSFC2A no ok 6 6 9 1000BaseX Supervisor WS-SUP32-GE-3B yes standby 7 7 5 Communication Media Mod. WS-SVC-CMM no ok 8 8 0 FXS no power-down 9 9 0 10/100BaseTX Ethernet no power-down !---** Output suppressed Mod Sub-Type Sub-Model Sub-Hw Sub-Sw ---
----- 3 Inline Power Module WS-F6K-VPWR 1.0 1.1(1) 4 Inline Power Module WS-F6K-VPWR 1.0 1.1(1) **5 L3 Switching Engine III WS-F6K-PFC3B SAL1012GREU 2.1 6 L3 Switching Engine III WS-F6K-PFC3B SAL1017L9WJ 2.1**


```
.....Present Level3 Cache .....Absent System Power On
Diagnostics Complete Currently running ROMMON from S (Gold) region Boot image:
bootdisk:cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin Firmware compiled 01-Dec-06 12:57 by integ Build
[100] This module is now in standby mode. Console is disabled for standby supervisor
```

2. スロット 6 にあるスーパーバイザにコンソール接続します。これが現在のアクティブなモジュールとなっています。冗長性のステータスは次のとおりです。

```
Access2> (enable) show system highavailability Highavailability: enabled Highavailability versioning: disabled
Highavailability Operational-status: ON Access2> (enable) show system redundancy-history
Maximum entries of switchover history table = 10 System cold start due to switchover
failure = 4 Standby available time (secs*100) = 98984 Redundant History Switchover Table:
Index: 1 Previous active supervisor module: 5 Current active supervisor module : 6
```

```
Switchover reason : user initiated Switchover time : Mon May 21 2007, 20:40:37show version
```

```
Access2> (enable) show version WS-C6509 Software, Version NmpSW: 8.5(8) Copyright (c)
1995-2006 by Cisco Systems NMP S/W compiled on Dec 1 2006, 23:03:43 System Bootstrap
Version: 12.2 System Boot Image File is 'bootdisk:RTSYNC_cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin'
```

```
System Configuration register is 0x2102 ブート変数は次のとおりです。 Access2> (enable)
show boot BOOT variable = bootdisk:RTSYNC_cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin,1;bootdisk:cat6000
-sup32pfc3k8.8-4-5.bin,1; CONFIG_FILE variable = bootdisk:switch.cfg Configuration register
is 0x2102 ignore-config: disabled auto-config: non-recurring, overwrite, sync disabled
ROMMON console baud: 9600 boot: image specified by the boot system commands Image auto sync
is enabled Image auto sync timer is 120 secondsshow module の出力は次のとおりです。
```

```
Access2> (enable) show module Mod Slot Ports Module-Type Model Sub Status --- --- ---
-----
1 1 Unknown Card power-down 2 2 48
10/100BaseTX Ethernet WS-X6248-RJ-45 no ok 3 3 48 10/100BaseTX Ethernet WS-X6348-RJ-45 yes
ok 4 4 48 10/100BaseTX Ethernet WS-X6348-RJ-45 yes ok 5 5 9 1000BaseX Supervisor WS-SUP32-
GE-3B yes standby 6 6 9 1000BaseX Supervisor WS-SUP32-GE-3B yes ok 16 6 1 Multilayer Switch
Feature WS-F6K-MSFC2A no ok 7 7 5 Communication Media Mod. WS-SVC-CMM no ok 8 8 0 FXS no
power-down 9 9 Unknown Card power-down !--- Output suppressed Mod Sub-Type Sub-Model Sub-
Serial Sub-Hw Sub-Sw ---
--- 3 Inline Power Module WS-F6K-VPWR 1.0 1.1(1) 4 Inline Power Module WS-F6K-VPWR 1.0
1.1(1) 5 L3 Switching Engine III WS-F6K-PFC3B SAL1012GREU 2.1 6 L3 Switching Engine III WS-
F6K-PFC3B SAL1017L9WJ 2.1 Access2> (enable)
```

3. MSFCを確認します。Access2> (enable) session 16

```
Trying Router-16...
Connected to Router-16.
Escape character is '^]'
```

```
LAB-Router>enable
```

```
LAB-Router#show version Cisco Internetwork Operating System Software IOS (tm) MSFC2A
Software (C6MSFC2A-ADVENTERPRISEK9_WAN-M), Version 12.2(18)SXF7, RELEASE SOFTWARE (fc1)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport Copyright (c) 1986-2006 by cisco
Systems, Inc. Compiled Thu 23-Nov-06 01:03 by kellythw Image text-base: 0x40101040, data-
base: 0x42638000 ROM: System Bootstrap, Version 12.2(17r)SX3, RELEASE SOFTWARE (fc1)
BOOTLDR: MSFC2A Software (C6MSFC2A-ADVENTERPRISEK9_WAN-M), Version 12.2(18)SXF7, RELEASE
SOFTWARE (fc1) LAB-Router uptime is 7 minutes System returned to ROM by Stateful Switchover
System image file is "bootflash:c6msfc2a-adventerprisek9_wan-mz.122-18.SXF7.bin" This
product contains cryptographic features and is subject to United States and local country
laws governing import, export, transfer and use. Delivery of Cisco cryptographic products
does not imply third-party authority to import, export, distribute or use encryption.
Importers, exporters, distributors and users are responsible for compliance with U.S. and
local country laws. By using this product you agree to comply with applicable laws and
regulations. If you are unable to comply with U.S. and local laws, return this product
immediately. A summary of U.S. laws governing Cisco cryptographic products may be found at:
http://www.cisco.com/wvl/export/crypto/tool/stqrg.html If you require further assistance
please contact us by sending email to export@cisco.com. cisco MSFC2A (R7000) processor
(revision MSFC2A) with 458752K/65536K bytes of me mory. Processor board ID MSFC2A R7000 CPU
at 300Mhz, Implementation 0x27, Rev 3.3, 256KB L2, 1024KB L3 Cache Last reset from power-on
SuperLAT software (copyright 1990 by Meridian Technology Corp). X.25 software, Version
3.0.0. Bridging software. TN3270 Emulation software. 29 Virtual Ethernet/IEEE 802.3
interfaces 509K bytes of non-volatile configuration memory. 65536K bytes of Flash internal
```

Catalyst OS の名前変更

交換したスーパーバイザ モジュール内の CatOS の名前は RTSYNC で始まっています。このシステムはこのままにしておくこともできます。また、このファイル名を変更して、次のように標準的な名前にすることもできます。

```
Access2> (enable) rename RTSYNC_cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin cat6000-sup32pfc3k 8.8-5-8.bin
Access2> (enable) dir 2287 -rw- 10029260 May 21 2007 21:40:01 cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin
236900352 bytes available (19390464 bytes used) Access2> (enable)
```

ファイルの名前を変更した後は、ブート変数を変更する必要があります。

```
!--- Verify boot variable Access2> (enable) show boot BOOT variable = bootdisk:RTSYNC_cat6000-
sup32pfc3k8.8-5-8.bin,1;bootdisk:cat6000 -sup32pfc3k8.8-4-5.bin,1; CONFIG_FILE variable =
bootdisk:switch.cfg Configuration register is 0x2102 ignore-config: disabled auto-config: non-
recurring, overwrite, sync disabled ROMMON console baud: 9600 boot: image specified by the boot
system commands Image auto sync is enabled Image auto sync timer is 120 seconds !--- Clear all
the boot variables Access2> (enable) clear boot system all BOOT variable = Access2> (enable)
2007 May 21 21:41:56 %SYS-5-SUP_IMGSYNC:File synchronization process will start in 120 seconds
!--- Configure the boot variable Access2> (enable) set boot system flash bootdisk:cat6000-
sup32pfc3k8.8-5-8.bin BOOT variable = bootdisk:cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin,1; Access2>
(enable) 2007 May 21 21:42:14 %SYS-5-SUP_IMGSYNC:File synchronization process will start in 120
seconds !--- Verify the boot variable Access2> (enable) show boot BOOT variable =
bootdisk:cat6000-sup32pfc3k8.8-5-8.bin,1; CONFIG_FILE variable = bootdisk:switch.cfg
Configuration register is 0x2102 ignore-config: disabled auto-config: non-recurring, overwrite,
sync disabled ROMMON console baud: 9600 boot: image specified by the boot system commands Image
auto sync is enabled Image auto sync timer is 120 seconds
```

関連情報

- [冗長スーパーバイザ エンジン装備の Catalyst 6000/6500 シリーズ スイッチでのソフトウェア イメージ アップグレード設定例](#)
- [Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチに関するサポート ドキュメント](#)
- [LAN 製品に関するサポート ページ](#)
- [LAN スイッチングに関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)